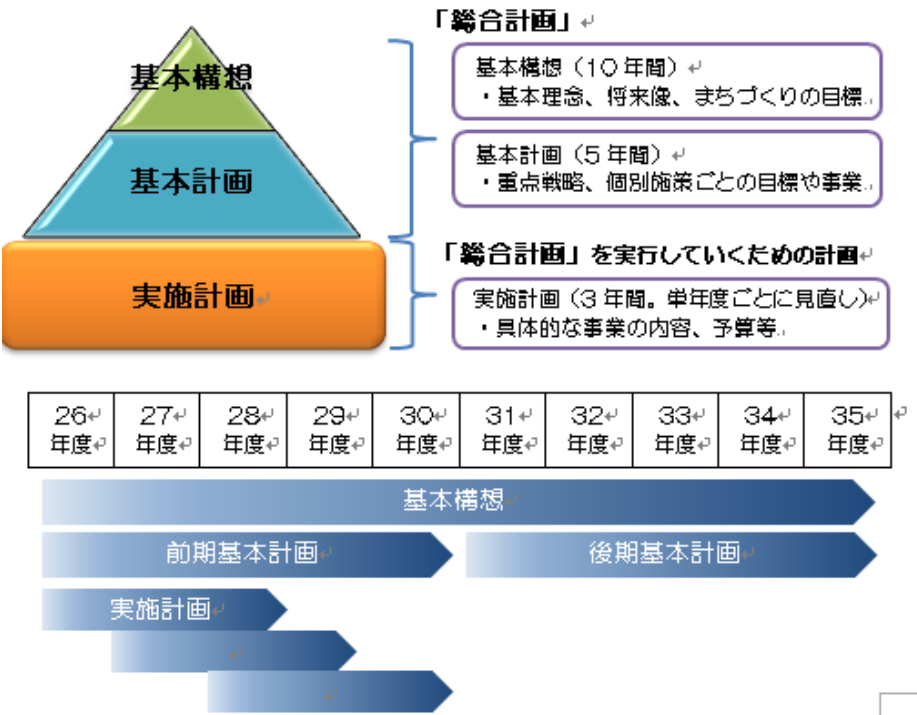


【はじめに】

平成 26 年度より長井市第 5 次総合計画がスタート(平成 26 年度～35 年度) し、併せて総合計画で定める目標や成果指標を適切に踏まえ、具体的な事務事業の内容を示した前期実施計画(平成 26 年度～28 年度)を策定したところです。

計画構成と期間



【総合計画の進行管理】

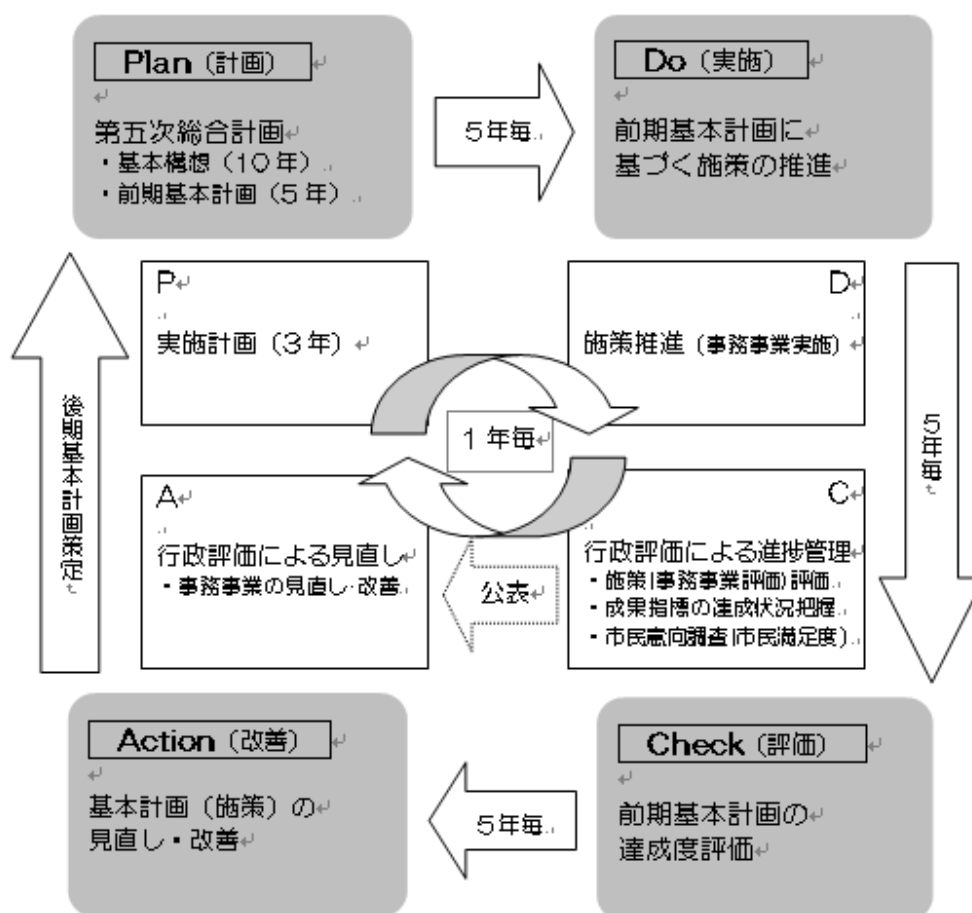
今後、時代の変化に対応しながら多様化・高度化する行政ニーズに的確に応え、効率的な行政運営を行っていくためには、PDCAサイクルに基づいた総合計画の進行管理を行っていく必要があります。

基本構想を実現するための手段が基本計画であり、基本計画を実現するための手段が実施計画です。基本計画では、めざす姿について最終的に実現したい状況（アウトカム）を「目標」とし、前期 5 年で達成すべき「成果指標」をできる限り数値化しています。

目標への貢献と成果指標を意識しながら実施計画を策定し、事務事業を実施していきます。また、事務事業の実施内容を毎年度評価し、翌年度の改善の方向性を示していきます。

前期基本計画についても 5 年をサイクルとする進行管理を行い、成果指標や市民満足度に基づく検証と評価をもとに後期基本計画の目標や成果指標を再設定していきます。

P D C A サイクルに基づく総合計画の進行管理



特に Check(C)行政評価においては、事務事業(施策)を評価する上で、成果指標の達成状況の把握のほか、市民意向調査により客観的に施策を評価し、市民満足度を推し量ることが重要であります。

そのため、市の基本構想・基本計画の各施策の現状について、市民の意見を集約する目的でアンケート調査を実施し、その結果を、各施策が目標に対しどのくらい進んでいるかを評価する「行政評価」の一部に位置づけ、今後の施策を展開していく際に活用することが必要です。

【調査目的】

市の施策に対して、市民が感じている思い(施策の満足度・重要度など)を把握し、今後の施策に活かすとともに、総合計画の進行管理(指標の進捗確認、市民による外部評価)を行うため、アンケートによる市民意向調査を平成 24 年度に実施しています。

今年度においても、その後の施策を受けての市民意向を把握し、必要に応じて事務事業の見直しや改善を図り、一層の効率的な行政運営の一助にするものである。

【調査概要】

単年度区切りでのアンケート調査の場合は、回収率を第一義に考えるので、性別や年齢など前回回答率の高い範囲での調査が効率的ではあるが、経年での市民満足を推し量るものであるので、前回(平成 24 年度)に実施した意向調査と同規模で行うものとする。

- ◆調査対象：長井市在住で 20 歳以上 80 歳未満の市民
- ◆抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
- ◆対象者数：1,800 人
- ◆調査方法：アンケートを郵送配布、郵送で回収（尚、回答は無記名とする）
- ◆調査期間：平成 26 年 8 月 日()～ 8 月 日()
- ◆回答数(予定)：810 件(回答率 45%で想定) ※平成 24 年度 821 件(45.6%)

【調査項目に求めるもの】

- ・市民の意向を拾い上げるだけでなく、5 次総合計画の中の行政施策を周知し、計画実現ための機会とする。(行政サービスへの関心を惹起し、適正な評価に結ぶ)
- ・回答し易くするため、文字数や設問数を検討する。(A 4 で 20 ページ程度)

【集計と公表】

アンケートの集計及び分析については、「第 5 次総合計画の進捗管理に係る研究」として、前回同様、国立大学法人山形大学受託研究として、人文学部（下平ゼミ）に依頼することとする。また、公表については、市報並びに市ホームページへの掲載によるものとする。

【当面のスケジュール】

期日	作業項目	付記
～7 月下旬	アンケート内容の進め方(方針)確定	7/24 長井市振興審議会
8 月中下旬	アンケート発送	
8 月下旬以降	アンケート回収	
9 月～10 月	アンケート集計及び分析	
11 月～1 月	アンケート集計及び分析中間報告	11/中旬 長井市振興審議会
1 月下旬	集計及び分析の結果報告書の受理	2/月上旬 長井市振興審議会

【次年度以降の調査の進め方】

- ・2 年に 1 回の間隔でアンケート調査を実施する予定。(次回、平成 28 年度)
- ・後期計画（平成 31～35 年度）への反映のため、平成 30 年度実施は平成 29 年度実施に繰り上げるものとする。(平成 29 年 11 月頃アンケート実施、平成 30 年 1 月集約)